

# 被覆資材でコンテナ植木の雑草を抑える

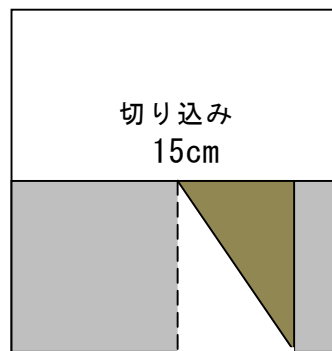
ポリポットやプラスチック鉢などの容器を使った鉢物（コンテナ植木）では、鉢の中に生えた雑草を取るのに大変な手間と労力を要しています。

そこで、被覆資材を利用して雑草を抑える省力的な技術を開発しました。方法は、①遮光率（光を遮る割合）99%以上の被覆資材を使うこと、②被覆資材を鉢・植木及び鉢土表面に隙間なく密着させることです。この方法で、高い抑草効果とコスト削減（手取り除草の約8割のコスト）ができました。

## 1 コンテナの被覆による抑草技術

### (1) 被覆の方法

- ① 6号鉢(直径およそ18cm)の場合、30cm四方の被覆資材を準備し、②写真(左)のように15cm程度の切り込みを入れ、③そこに植木の幹を挟み込みます。次に、④被覆資材の灰色部を重ね合わせます。かん水時に水が入りやすいように、中央部分を低くします。
- ⑤鉢・植木及び被覆資材を鉢土表面に隙間なく密着させ紐などで固定します(写真右)。



6号鉢用 30cm 四方被覆材



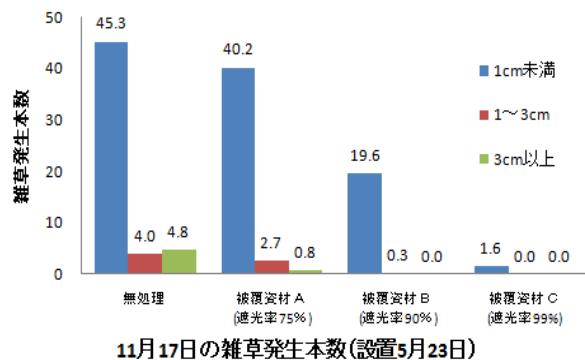
鉢と植木の被覆状況

### (2) 資材の種類

遮光率 99%の資材で被覆すると、雑草はほとんど発生しません。

### (3) 被覆することの効果

- ① 雑草種子が侵入できません。
- ② 光が差し込まないため、用土に混入していた雑草種子も発生を抑制できます。



## 2 約2割のコスト削減

手取り除草に要する作業時間は 40 鉢/時間、出荷まで 2 回除草とするとコストは約 40 円/鉢です。また、資材の被覆に要するコストは 60 鉢/時間から 13 円/鉢、これに資材費 20 円/鉢を加えると約 33 円/鉢です。除草のためのコストは、約 2 割削減できます。